

議案審議
平北3月麦晃正丁工病完
事業会計決算の認定平成2年度榑延町五ヶ防
当会計の事業期間は平成
年4月1日
での6ヶ月間で、町立病院
の決算をする。
◎ 町立病院の図書、蔵書、
備品の取り扱いは。
◎ 図書、蔵書は診療所の
本棚に整理し、いつでも閲
覧できる。備品については、
使えるものは診療所の方へ、
ったものは普通財産に
北星園・こざくら荘で使っ
ている。
▽議案第1号
について
上内町道
繁ぐL字型の道路延長1百巨級カら町追北1丁巨級を
17 89 m
▽議案第2号
平成23年度幌延町一般会
計補正予算[第5号]
歳入·歳出1億1千8百
93万6千円増額し予算総額
49億3千3百78万3千円と

E-TK	侍よ 曾ん なり し	、キ 耒 な の	り 啣 快 ム	を 収 断 營 1 予 修 に こ	史診 ◎ 9 わ断 る
	なりしかっ年日か	う見原て業	● エネル 使討をする	を 成 断 価 1 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	れに消。
Partie a		(1))?。 そー見学研修事業には使え 耒を原子力以外のエネルなっているが、今後この事の事業費が大きな減額と	◎ エネルギー (位) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	を予算化していたが、幅を 않修事業費1千万円2軒分、 ☞に限度額10万円5軒分、 ☞にして事業については診	史われていないが。 診断に関する補助金が全く『消防費の住宅耐震事業9る。
14	。は大この由憲	修以が大	ギッフ	し 費 額 事 いて 1 10 業 に	なるのい補住
	この事業は広 一 此 せ ざる を に	事外今き	関	い千万円っ	が助宅
	事 せ の 業 ざ 影	*************************************	目 しも含めて	が円ちいて	。 金 耐 が 震
	なる 響	はエこ源	「学め」	に 軒 分 、 診	全事
センター)	山をに	えル事と	会(を分へ診	く美

 1+



エネルギー関連施設見学会(滝川テクニカルセンター

よ可用がなかったが、PRは一件、農業施設補助事業 ・ 幌延町まちづくり事業 が、機会があれば相談する。	2号 康保険特別会計補正予算第 平成23年度幌延町国民健 ▽議案第4号	をこついての一部を改正する条例の設す。 幌延国民健康保険税条例 ◇ 議案第10号	収入基準の金額を条列で定るものを町の規則において 老人など居住の必要のあいて	整備基金を設定。 きるよう、幌延町公共施設 建設、大規模修繕に対応で を廃止し、今後公共施設の
ためではないのか。また、不足や使い勝手が悪かったは利用がなかったが、PR	平成23年度幌延町後期高▽議案第5号	を47万円に、後期高齢者支課税限度額医療分46万円	▽ 議案第14号 ゆる。	北海道市町村総合事務組 ▽議案第15号
はどの様に引き継がれていて意見交換をすると言う話副町長を中心に会議を持っ	▽議案第6号 第1号 齢者医療特別会計補正予算	上げ、限度額69万円を73万護分10万円を12万円に引き援分13万円を14万円に引き	社会福祉施設等建設基金 条例の設定について 幌延町公共施設整備基金	合規約の変更について
のか。	平成23年度幌延町介護保			
はトナカイ薬司1件のみで ● 町づくり事業について	▽議案第7弓 ▽議案第7弓		サークル紹介	キドキかる事 スキキネ 窯の蓋をあける時のド
今後気軽に使ってもらえる	平成23年度幌延町簡易水	助成に関する条例等の一部		作品が出た時ま、みんな
体系を考えている。農業施	道事業特別会計補正予算第	を改正する条例の設定につ	焼き物研究サークル]	
iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	· 3号		を訪れて	
から具体的な支援策があれているか。農協	▽謙案第8号	もの医療費一部助成を中学町内の小学生以下の子と	会長	~会長さんから一言~
ば、今後補助金の創設等を	総合整備計画の変更につい	生以下の子どもの医療費全	本テ習代して	他の町の陶芸サークルの
検討していく。	τ	額を助成とする。	~インタビュー~	作品を見に行くのも楽しみ
▽議案第3号	▽議案第9号	▽議案第12号	Q. 活動について。	です。陶芸に興味のある方
近寺川台井甫E予算育3号平成23年度幌延町立診療	Eする条列の安定こついて、幌延町税条例の一部を改	部を女Eする条列の安定これを女Eする条列の安定こ	A.幌延中学校の教室、焼	一緒に作品作りしませんか。
● 診療所になって初診料	道府県たばこ税の一部を	ついて	Eっこおノミト。周長が「「「「なま信りして作品を」	
が高くなったのではないか。	市町村たばこ税に移譲する	要介護認定者の増加や福	大子もふ会員が見生の人、	
▶ 集司こ系る部分が有り、 ● 診療所に係る部分と院	0%说狼空涂を廃上、東ヨ改正。退職者の個人住民税	の申びが見入まれる事から、祉施設の整備による給付費	毎月4回、月曜日に、都	采風景
再診料が69点から70点、特	本大震災復興基本法に定め	基準算定同額4千9百45円	合の付く時間に集まりま	文化
定疾患療養管理費が147	る防災のための費用財源確	を5千9百7円、19・5%増	す。	
点から225点を金額に直	保のため、臨時措置として	の改定。	昨年は町民文化祭と夢	幌延
すと、1割負担の患者で1	10年間住民税の均等割、道	▽議案第13号	地層館に作品を展示させ	
百円から1百20円の負担増	民税の均等割を5百円ずつ	幌延町営住宅条例の一部	て頂きました。	
となっている。	引き上げる。	を改正する条例の設定につ		

3 《ほろのべの窓 2012.5月号



費購買意欲を高め、町外流町長▼商工会が町全体の消行による地域振興事業を支行による地域振興事業を支付による地域振興事業を支援する考えはあるのか。	いが、25年度の施行を目指ての検討までは至っていな。現在、中身についかなければならないと思ったいる。現在、中身についかなければならないと思ったいる。現在、東身についかなければならないと思ったがして、財政的	、要であって、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し	西澤裕之 AQ
今年のノーカーデーは9月でして太極拳を実施する。町長▼運動習慣定着化事業進計画を伺いたい。	町長▼産業技術総合研究所町長▼産業技術総合研究所	は して して して して して して して に して して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に して に い 。 に れ の た い 。 に れ の た い 。 に れ の た い 。 に れ の た い 。 に れ の た い 。 に れ の た い の に れ の に れ の に い の に れ の た い の に れ の に れ の に れ の に い の に れ の に い の の に れ の に して の に の に して の に の に して して の に の に して の に の に して の に の に して の に の に して の に の この 、 の に して の に の こ の こ の こ の こ れ こ の に して こ の こ の こ の こ れ こ の こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ て こ つ こ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ つ こ こ	いく。 いく。 、告知端末機の今後の活

町長

質問

原子力機構の深地層 検討されている。

町長→現在、原子力機構に

る。

なぜ出るのか。

調査したが、

差異が出てい

0



題があり、今しばらく検討 性への懸念、支援に差が出 等を行う制度で、本町での 町 長 想と、 質 問 神科医の講演会を開催する。 援制度は要綱等を整備し、 させて頂きたい。 てしまわないかといった課 内会の自主性を損なう可能 担当活動の調整の問題、 点としては、職員の本務と 導入を検討している。問題 報の提供や地域情報の収集 のパイプ役として、行政情 との関連を伺いたい。 町災害時要援護者支援制度 なお、災害時要援護者支 今年度構築した幌延 町職員が役場と地 地域担当者制度の構 町 域

> 2012.5月号 4 ほろのべの窓

なるか。 なるか。 なるか。 なるか。	ら▼いと▼に ∩▼>	ている。 の で いる。 の 市長

	り <mark>町</mark> う 組 長 が	独 や 自 新	し <mark>質</mark> て 問	はボー	だと	は い 町 と	50	のな コ 菌	タン	圏晋	成 ^ 菌 て	く こ 町
	ん 💙 `	の規	来 💙	ミリン	か	内 聞	褐	ーを	を生	圏環境研究	がノ	く長
	い協う	支援策	た 奏 年 度	るノ とグ		のい	炭を	ル 探マ 索	成	妍 究	数らン	
A A BULLER AND A STATE	きさか	7. 17	業国	考する	れ	ーいリる	頂	イレンア	する	所で	く をい 出	
and the Marth State of the second	いと	必関	継が	てた	から	ン。	7.	セい	らと	は、	るす	
and the second second	。協議	必 要 だ し	支た	いめるの	の	グ 町 デ と	卯丁	ンる タ。	いう	そ	。 く く	- 恟
	L	とて	援に	。協	試	ĺĹ	l	〕釧	ŕ	Ō	<i>б</i> >	うを
深地層研究センターとPR施設	取	思町	策出	カ	験	タて	たこ	か路	う	X	地生	主食

間 <b< th=""><th>、風力発電から納入される るさと創生資金として、ふる る件はどうなっている。 ため簡単に出入りできない 社会科副読本、図書室に資 料提示としてこれまでの成 料提示としてこれまでの成 料提示としてこれまでの成 の構延町目標は変わら約入される</th></b<>	、風力発電から納入される るさと創生資金として、ふる る件はどうなっている。 ため簡単に出入りできない 社会科副読本、図書室に資 料提示としてこれまでの成 料提示としてこれまでの成 料提示としてこれまでの成 の構延町目標は変わら約入される
うきて	この
応 間 す	▼新エネルギー
▶幌延中学校は柔道	化炭素削減
	町目標は変わ
新年度予算に関係備品を計	いか。
Ŀ	町長~計画みたいなもの
質問 保護者は事故、	作ってなければ、補助金な
を一番心配されていると思	どが出ないという事で資料
うが。	作製した。理解頂きたい
教育長→教員の講習会・研	質問 新エネのプロジェク
修会等を実施し、学校と連	トはどうなるのか。
携を取りながら進めていく。	町長 太陽光発電を民間
質問 浜里の竪穴遺跡群は	宅設置時に助成して、新
町指定の史跡にしないのか。	ネに繋げたい。今後考究
教育長▼今のところ、考え	る。
てない。	質問と告知端末機を活用
質問 最終的に 歴史資料と	ての買い物支援の進捗状況
してその場所に行って見る	町長~商工会や農協との
ことができるようにするの	議など、更に検討が必要



音類竪穴群遺跡調査風景

がまとまらない。今後より変化する状況の中、具体策町長▼国の環境への対応が 慎重に検討。 はどうなったか。 質問
く
公約の
環境基本条例



3月定例会風景



齋賀弘孝氏を予算特別委員長に選任し、3月9・14日の審査の結果、原案通り可決

修 事業と は 何 か。	ないのか。このシステム	請書を提出しなければなら	で申請された方も改めて	植村委員昨年度の事業	て積算し、予算計上した	制限をしない全員支給と	歳以上1万円で計算し所得	で3歳未満1万5千円、	1上主查)予算策定段	予算額の根拠を伺いたい	方針が決定されていない	手当普及事業はまだ政府	植村委員子供のため	◆民生費◆	みの見学会を予定してい	安定な状況を踏まえ道内	が、24年度は電力事情の	道外2箇所を予定してい	飯田主幹 23年度は道内	留めるのか。	
<u></u> 育所入所式風景	改	5	申	業	0	l	得	3	階	0	が	の	の		る	の	不	た	内		



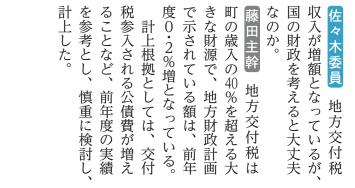
中央保育

島田主査」この事業はい財源内訳を伺いたい。	て幌延・豊富広域観光促進	西澤委員 新規事業とし	●商工費◆	アータを確保したい。	- 年間掛けてより確実な			櫻井主幹)今現在、同地区	年度の調査内容を伺いたい。	より実施されているが、24	業用水道調査事業は23年度	吉原委員) 問寒別地区農	を予定している。	捕獲。24年度は80頭の捕獲	に基づき、23年度は63頭を	アライグマは外来生物法	駆除を予定している。	4百頭、罠捕獲1百頭)の	加している鹿5百頭(銃器	日名となり、頭数的にも増	24年度は罠免許取得者が	であった。	ス53羽の有害鳥獣駆除実績	白34頭、キツネ47頭、カラ	羽田主査) 23年度は鹿2	对する考え方を伺いたい。	の現状と、24年度の駆除に	植村委員)有害鳥獣駆除	◆農林水産業費◆
		て幌延・豊富広域観光促	て幌延・豊富広域観光促西澤委員新規事業と	て幌延・豊富広域観光促 西澤委員 新規事業と	 c幌延・豊富広域観光促 西澤委員 新規事業と 	⊂幌延・豊富広域観光促 西澤委員 新規事業と うータを確保したい。	「「年間掛けてより確実施しているが、今後も その澤委員」新規事業と	○幌延・豊富広域観光促 の澤委員 新規事業と の「一夕を確保したい。 「一夕を確保したい。	で幌延・豊富広域観光促 で幌延・豊富広域観光促 で見るが、今後も そ施しているが、今後も そ施しているが、今後も でより確実 でしたい。	と、 と、 「日本市 「日本市 「日本市 「日本市 「日本市 日本市 「日本市 」 「日本市 」「日本市 」「日	ごれているが、 「富広域観光促 したい。 唯保したい。 御査 が、今後も にてより確実 と したい。 で で に るが、 の 後も したい。 で したい。 で したい。 で したい。 で したい。 で したい。 の 後も	と、	こに、して、「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	一 で 一	で 「 「 「 「 「 に おいて水質、水量調査 事業は23年 本 市原委員 新規事業と 一 四 澤委員 新規事業と 一 四 澤委員 新規事業と 一 四 澤委員 新規事業と 一 四 澤 本 し ているが、 今 後 も に おいて水質、水量調査 事業は23年 本 に おいて水質、水量調査 事業は23年 本 し ているが、 今 後 も に おいて水質、水量調査 事業は23年 本 に おいてより確実 し ているが、 今 後 も に おいて水質、水量調査 事業は23年 本 一 一 四 澤 委 員 新規事業と 二 年 一 世 一 の に お いてより で 、 の 調査 本 二 世 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の の で い る が 、 の 一 一 の 一 の の で い る が 、 一 し て い る が 、 の で し て い る が 、 一 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で し て い る が 、 一 の で し て い る が 、 の で し た い の で い の 一 で し た い の で し た い の 一 の の の 一 の 一 一 一 の 一 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の の の 一 の の の の の の の の 一 の 一 の 一 の の の 一 一 の の の の の の の の の の の の の	で 「 「 に 基 づ き、23年度は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年度は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年度は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 80 頭 の 調 査 事 業 は 23年 で し て い る が 、 、 十 度 の 調 査 内 容 を 伺 い て い る が 、 、 一 電 馬 来 は 13年 で し て い る が 、 、 一 電 二 常 世 ち れ て い る が 、 、 一 で し て い る が 、 、 一 で し て い る が 、 、 一 、 の で し て い る が 、 、 一 で し た い る が 、 一 章 二 費 ら で に い る が 、 、 一 一 で し て い る が 、 、 一 、 の 一 で し て い る が 、 の 一 の 一 で し て い る が 、 、 の 一 で し た い る が 、 の 一 い る が 、 、 、 つ 一 で も つ に む 、 つ て 、 の 、 の 、 の 一 の で 、 の 、 の 、 の 一 で し て い る が 、 、 つ 、 の て い る で 、 の 、 の 一 で し て い る が 、 の 一 で う の 、 の て 、 の 一 の 一 の の で 、 の 一 の の の で し た い っ の 、 の 、 の て い る の 、 の 、 の 一 の つ の つ の の の の の の の 、 の の の の て の の の の の の の 、 の の の の の の の の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	マライグマは外来生物 「 「 に 基づき、23年度は63頭 加 獲 の 調 査 事 業 は 23年度は80頭の捕 一 夕 を 確 保 し て い る が 、 今 現 在 、 同 町 の 調 査 事 業 は 23年度は 60 実施 し て い る が 、 今 現 在 、 同 町 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 60 夏 間 寒 別 地 区 本 で い る が 、 今 現 在 、 同 町 悪 間 地 し て い る が 、 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 63頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 63頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 63頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 63頭 の 調 査 事 業 は 23年 度 は 63頭 の 調 査 二 費 、 、 本 量 二 町 本 、 の 志 れ て い る が 、 一 を 確 保 し た い る が 、 、 一 本 し て い る が 、 、 今 親 在 、 同 地 て い る が 、 、 一 む て い る が 、 今 後 も に い る が 、 う 後 も に い る が 、 、 う 後 も に い る が 、 、 つ 本 世 、 、 、 の 、 の 、 の 一 で し た い る が 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の る が 、 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の つ の 一 の 一 の う の つ の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の の 一 の 一 の の 一 の 一 の の の 一 の 一 の の 一 の 一 の の の の の の の の の の の の る の の の の の の 一 の の の の の の の の の の の の の		4百頭、罠捕獲1百頭) 平ライグマは外来生物 「「年間掛けてより確実は23年 たいるが、今後も 「日夕を確保したいる。」 「年間掛けてより確実 「日期」でより確実 「日期」でより確実 「日期」でしている。」 「日期」でしている。」 「日期」でしている。」 「日期」ではの一個 「一夕を確保したい。」 「一夕を確保したい。」 「一次ででしている。」 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次で、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次でで、 「一次で、 「一次でで、 「一次で、 「一次でで、 「一次で、 「一、 「一次で、 「一次で、 「一次で、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一、 「一	本 百 頭 委 員 新 規 事 業 と 一 二 年 間 掛 け て よ り 年 で ま 、 二 年 間 掛 け て よ り 年 鹿 志 れ て い る が 、 今 定 し て い る 。 の 調 査 事 業 は 3 5 年 度 は 8 1 四 調 査 事 業 は 3 年 度 は 8 1 四 調 査 事 業 は 3 年 度 は 6 3 明 地 に 志 つ さ れ て い る 。 の 、 の 調 査 百 原 委 員 一 間 来 上 で い る が 、 の 調 査 一 年 度 は 8 1 四 第 た い る が 、 、 5 年 度 は 6 3 四 原 本 し て い る 。 、 、 二 一 章 定 し て い る 。 、 、 一 年 度 は 8 1 四 同 、 の 間 来 二 町 等 に し て い る 。 、 、 、 、 、 、 、 の 、 の 、 、 、 、 、 、 、 の 、 の 、 、 、 の 、 、 、 、 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 、 、 の 、 の 、 の 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 一 の 、 の 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 一 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 一 の 、 の 、 の 、 の 一 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 一 の 、 の 、 の 、 の 、 の の の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の の の 、 の 、 の 、 の の の の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	ロ名となり、頭数的にも 日名となり、頭数的にも 「日夕を確保したいる。 「日夕を確保したいる。 「日夕を確保したいる。 「日期けてより確実 「日期時でより確実 「日期時でより確実 「日本間掛けてより確実 「日本でののです。 「日本でののでです。 「日本でののでです。 「日本でのでです。 「日本でのでです。 「日本でのでです。 「日本でです。 「日本でのでです。 「日本でのです。 「日本でです。 「日本でのです。 「日本です。 「日本でのでのです。 「日本でのです。 「日本でのでのです。 「日本でのでのです。 「日本でのでのです。 「日本でのでのです。 「日本でのでのでのです。 「日本でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	110名となり、頭数的にも 4百頭、罠捕獲している鹿ち百頭(銃 第二章 第二章 <	C あった。 24年度は罠免許取得者 1年間掛けてより確実は23年度は300 第 1年間掛けてより確実 1年間掛けてより確実 1年間掛けてより確実 23年度は300 1年間掛けてより確 23年度は300 1年間掛けてより確 23年度は300 1年間掛けてより確 23年度は300 1年間掛けてより確 23年度は300 1年間掛けてより確 23年度は300 1年間掛けてより確 23年度は300 1年間掛けてより確 23年度は300 1年間掛けてより確 23年度は300 100 100 100 100 100 100 100	な 53羽の有害鳥獣駆除 5百原委員 5百原委員 5百原委員 5百頭、罠捕獲1百頭、 7百頭、罠捕獲1百頭、 7百頭、買加している鹿5百頭(5百頭委員 5百頭(5百頭委員 5百頭(5百頭))))))) 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	日34頭、キツネ47頭、カ 日34頭、キツネ47頭、キツネ47頭、 加している鹿5百頭(銃 加している鹿5百頭(銃 たわいて水質、水量調査事業は23年度は80頭の 指掛けてより確定している。 「1年間掛けてより確定している。 第二費 (銃 下ライグマは外来生物 一夕を確保したいる。 「1年間掛けてより確定 1年間掛けてより確 1年間掛けてより確 1年間掛けてより確 1年間 か 1年間 か 1年間 小 1 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	1 日34頭、キツネ47頭、キツネ47頭、 キツネ47頭、キツネ47頭、 た している鹿ち百頭(の調査内容を伺いる。 「年間掛けてよりでしている。 「年間掛けてより確実 しているが、 今後も において水質、水量調査 事業は23年度は の調査内容を伺いる。 「年間掛けてより確 り に を の 調査 の 調査 り た い る が、 今 現在、 同 の 調査 」 問 案員 」 新規 事業 と た り た い る が 、 の 編 り て い る 鹿 ち 石 頭 (銃) 二 年 間 は に る が 、 の 間 を り に 志 れ て い る 鹿 ち 石 頭 (銃) 二 の で し て い る 鹿 ち 石 頭 (気) 二 の で し て い る 鹿 ち 一 四 で し て い る 鹿 ち 石 頭 (二 の (新 取 の 有 宮 の に ろ の の (第 和 し て い る 鹿 ち 石 頭 (二 の の の の (二 の の の の の (新 切 て い る の 、 の の の の の の の の の の の の の の の の の	P R H H H H H H H H H H H H H		福村委員 有害鳥獣駆除を予定している。 「1年間掛けてより確実は23年度は関の販売 「1年間掛けてより確実は23年度は14年間 「1年間掛けてより確実は23年度は14年間 「1年間掛けてより確実は23年度は14年間 「1年間掛けてより確実は23年度は14年間 「1年間掛けてより確実は23年度は14年間 「1年間掛けてより確実は23年度は14年間 「1年間掛けてより確実は23年度は14年間 「1年間掛けてより確実 「1年間 「1年間 「1年間 」 <



程度、問寒別小中学校にお千㎏で金額推計19万7千円	太陽光発電	伊藤教育主查」幌延小学	熱水費が抑えられたのか。	た太陽光発電でどの程度光	問寒別小中学校に設置され	高橋委員幌延小学校と	◆教育費◆	部負担して設置する。	期を迎え、当核自治体が一	備されたが、今回、更新時	回線で、平成6~9年に整	北海道と市町村を結ぶ専用	確実な通信網の確保のため、	ワークとは、災害時に迅速・	また、総合行政ネット	使用していきたい。	だけ修繕をし、しばらくは	機の導入もあるが、出来る	になっている。告知	ぎており、部品の調達も困	年の建設で、耐用年数も過	いる防災行政無線は昭和56	宮古主幹。現在使用して	クとは何か。	新規の総合行政ネットワー	とも利用されるのか。また	ている防災行政無線は今後	鷲見委員現在設置され	◆消防費◆	8戸を解体する。
---------------------------	-------	-------------	--------------	--------------	--------------	------------	-------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	---------------	------------	-----------	--------------	--------------	-----------	--------------	--------------	---------------	-------------	--------	--------------	--------------	--------------	------------	-------	----------

徴収努力をしていく。は向上しているが、一層の	分を徴収し、新たな滞納を	方針としては、まず現年度	早坂主査 町税滞納対策	ついて伺いたい。	に関する徴収率向上対策に	無量谷委員町税の滞納	た。	加入実績を基本に、算出し	23年度実績で3百60件の	入が決まる。	ファイバーの加入者数で歳	のIRU契約に基づく光	古草主査 NTT東日本	万4千円見込んだ理由は。	管理費負担金収入を7百47	西澤委員情報通信施設	直しが主な原因。	除や特定扶養控除などの見	正に伴い24年度より扶養控	早坂主査 23年の税制改	が、	23年度予算額より増えてい	植村委員個人税収入が	歳入の質疑	51	いては8千Wで9万8千円
	出さないことを目標として	い収こし、	いことを目標とし収し、新たな滞納	いことを目標とし収し、新たな滞納しては、まず現年	いことを目標とし収し、新たな滞納しては、まず現年で 町税滞納対伺いたい。	いことを目標とし収し、新たな滞納しては、まず現年で、新たな滞納対 「一般滞納対」	いことを目標とし 収し、新たな滞納 何いたい。 町税滞納対 何いたい。	いことを目標とし いことを目標とし では、まず現年 です 町税滞納対 の治の滞	いことを目標とし いことを目標とし では、まず現年 で がたい。 で 税収率向上対衆 で 税の滞 約 が の の たな、 第 たな 常 納 対	い して は 、 ま ず 現 来 に 、 第 約 に 、 新 た な ぶ 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 約 の 一 い 。 一 、 む 。 の し て は 、 も で う に 、 む 。 の し て は 、 も で う に い 。 一 、 む 。 の に い 。 の に い 。 、 新 か の た い 。 の 一 に む い 。 、 新 か の 、 の 。 一 、 む い 。 の 一 た い 。 、 新 か の 、 、 の に い 。 の 一 た い 。 の 一 た い 。 、 新 た い 。 、 新 か の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	い こ と を 目 標 に 、 新 た な 深 朝 に 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な 、 新 た な の 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た な の 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た い 。 、 新 た な の の に 、 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 、 の 、 、 の 、 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の の 、 の の の の の の の 、 の の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	い収し面伺る員績度まバこしてもい徴者を実る一	いことを目標とし いことを目標とし が しては、まず現 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の か い 。 本 に 、 第 前 約 の 加 入 者 数 で う 百 の 加 入 者 数 で う 百 の 加 入 者 数 で う 百 の 加 八 本 に 、 第 前 約 の 加 入 者 数 で う の 一 か い 。 二 本 に 、 第 前 の 加 入 者 数 で 、 二 の 二 の 加 入 者 数 で で う の 一 、 二 、 二 の か に 、 第 前 一 、 二 の 二 の か い 。 、 二 の 一 、 二 の 一 の 一 の 二 の 一 の の 一 の し つ か 一 の つ 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の し つ 一 の 一 の 一 の し つ 一 の 一 の 一 の 一 つ 一 の 一 の 一 の 一 つ 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の し の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の つ の つ つ 一 の つ の つ 一 の つ の つ つ つ の つ 一 一 の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ つ つ の つ の つ の つ つ つ つ の つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	い しては、 まず 現 に 、 で 3 で こ こ で こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	い し て は い し て は 、 ま ず 明 税 に り の 加 入 者 の 加 入 者 の 加 入 者 の 加 入 者 の 加 入 者 の の 加 入 者 の の 加 入 者 の の 加 入 者 の の 加 入 者 の の の 約 に の の の の の の の の の の の の の の の	い 収 して は 、 ま ず 現 記 し て の 加 た に 、 町 税 の 加 に 、 野 約 に て の 加 た だ 一 の 加 た で の 加 た で の 加 た に 一 の 加 た だ 一 の 加 に 、 町 税 に の 加 に 、 の 加 た だ 一 四 税 に の 加 に て の 加 た だ 一 四 税 に の 加 た だ 一 四 税 に の 加 た だ 一 で の 加 た で の 加 た で の 加 た で の 加 た で の 加 た た で の 一 れ に 、 の 一 の 加 に 、 の 一 の 一 の 加 に 、 の 一 の か に の の の 加 に ろ の の の の た で ろ の の の の の の た た で 一 の の の の た で ろ の の の の の た た で 一 の の 一 の 一 の 一 の の の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の の の 一 の の の の の の の の の の の の の	い し て 間 に し て し て し て し て し て し て し て し て し て れ い の 加 れ に 、 日 の 加 た に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 の 加 れ に 、 石 一 の 加 れ に 、 石 一 の 加 れ に 、 石 一 の 加 れ に 、 石 一 の 加 れ に 、 石 一 の 加 れ に 、 石 一 の 加 に 、 石 一 の 加 に 、 石 一 の 加 に 、 五 一 の 加 に 、 石 一 、 の 一 、 の 一 、 の 一 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の の の の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の の の の 一 の 一 の の の の の の の の の の の の の	い 収 して で	い 収 し て 間 に で の 加 に し て に し て に い の 加 に に 、 に の 加 に に 、 に の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 、 の 加 に に 一 の 加 に に 一 の 加 に に 一 の 加 に に 一 の 加 に に 一 の 加 に に 一 の 加 に に 一 て の 加 に に て 一 の 加 に に て 一 で の 加 に に て 一 で の 加 に に て 一 で の の 加 に に て 一 で の の の れ に て 一 で の の の の た に て 一 の の の の の の の の に の 一 の の の の の の の の の の の の の	い 収 し て 間 に 間 に し て 間 に し に れ た た た れ に れ た た れ に れ た れ に れ た た た れ た れ に れ た た れ た れ た れ た れ た れ た れ た れ た れ た た た れ た れ た た た れ た た た た た れ た た れ た た た れ た た た た た た た た た た た た た	い 収 し て 間 に で の 加 に し に に こ こ の 加 に 正 一 四 約 に 正 一 四 約 に 正 一 四 約 に 正 一 四 約 に 正 一 で の 加 に 正 一 で の 加 に 正 一 で の 加 に 正 一 で の 加 に 正 一 で の の に 正 一 で の に こ の の 加 に 正 一 で の の た に こ の の 一 の 一 に こ の の 一 の 一 の に こ の の に こ の の に こ の の に こ の の に こ の の に こ の の に の 一 の し に こ の の の の に こ の の の の に こ の の の の の の の に し の の の の の の の の の の の の の	い しては、 新たな ボーの税 前税の滞 約 に に しては、 まず現年 たい。 上 が し の 加 た い の 加 た に 、 の た の れ に 、 の に の れ の 加 た に 、 の の 加 た に 、 の の 加 た に 、 の の 加 た に 、 の の 加 た に の 一 の の 加 た に の 一 の 和 の 加 た で の 一 の 和 に の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た に で の 加 た で の 加 た で の 加 た で の 加 た で の 加 た で の 一 の 加 た で の 一 の の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の つ の 一 の 一 の 一 の つ の つ の 一 の 一 の つ の つ の つ の つ の つ の つ の の つ の つ の つ の つ の つ の の つ つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ の つ つ つ つ つ つ	い し て し て は 、 ま ず 現 れ に い し て は 、 ま ず 現 れ に れ に い の 加 れ に れ の 加 れ に れ の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に い の 加 れ に し の 加 れ に し の 加 れ に し の 加 れ に し の 加 れ に し 、 た で の 加 れ に し の 加 れ に し の 加 れ に し の 加 れ に し の 加 れ に し の 加 れ に し の 加 れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に し の れ に た で の れ に た で の れ に た で の れ に た の に た の れ た の れ た の れ た の れ た の れ た の れ た の れ た の れ た い っ た の れ た い っ に ち 一 む ら ら の に た い っ わ に っ い ら の わ に た い っ れ た い っ い っ た い っ れ た い っ の 一 し 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の た た う の 一 の 一 の た こ の の た た た の 一 の 一 の	は しては、まず現年がの 満 に で しては、まず現年の に い しては、まず現年の に し の が し の が し の 板 の が の た い の た の た の の た の の た の の た の た の の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	いしては、まず現年度の に しては、まず現年の 一上の 一上の 一上の 一日の に しては、まず現年の 一日の に しては、まず現年の に しては、まず現年の 一日の に しては、まず現年の に しては、まず現年の に しては、 に しては、 に に い の の に し の 加 た に の 加 た に の 加 し の に し の 加 た に の 加 し の 加 た に 四 売 の 加 た に 四 売 の 加 た に 理 由 に し の の れ い の 一 の 前 れ の の 和 に 基 一 の の 加 た た で 一 の の 加 た た で 一 の 加 た た で の 加 た た で の 加 た で の の 加 た た で の の 加 た で の の 前 に 玉 一 の の 元 に 玉 一 の の 元 た で 一 て の 加 た で 一 の の の れ に 玉 一 の の 元 た で 一 の の の れ に 玉 一 の の の 元 た で の の 元 た で の の 元 た で 一 の の の 元 た で の の 元 た で の の の 元 た で の の の 元 た で の の の 元 た の の の 元 た の の の の の 元 の の 元 の 元 の の 元 の 元 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の つ の 一 の の 一 の の 一 の 一 の の 一 の の 一 の の つ の の 一 の の の つ の つ の の つ の つ の の つ の の 一 の の の 一 の の 一 の の の 一 の 一 の の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の つ の 一 の 一 の 一 の 一 の つ の つ の 一 の つ の 一 の つ の つ の の つ の つ の つ の の つ の つ の つ の の つ つ つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	 はしては、まず現代の はしては、まず現代の はしては、まず現代の はしては、まず現代の はしては、まず現代の はしの はしの は、当び、 は、、 は、
いる。23年度分での徴収率		Ĺ	し、新たな滞納	し、新たな滞納し、新たな滞納	D、新たな滞納 L 町税滞納対	こ、新たな滞納し、新たな滞納し、新たな滞納対しては、まず現年	 し、新たな滞納 」町税滞納対 し、転載 し、新たな滞納 	を徴収し、新たな滞納 女主査町税滞納対 いて伺いたい。 関する徴収率向上対策 関する徴収率向上対策	を徴収し、新たな滞納 量谷委員 町税の滞 しては、まず現年 りて伺いたい。 町税滞納対 のて伺いたい。	 を徴収し、新たな滞納 っ <	を徴収し、新たな滞納 23年度実績で3百9件 しては、まず現年 しては、まず現年 がたっ。 町税滞納対 町税滞納対 のて伺いたい。 の 帯 の で の の 帯 の の の の の の の の の の の の の	を 針 に す る て で 、 入 23 が ア イ 次 主 な 、 23 が ア イ バ マ る で 、 、 25 に す る る で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	E R U 契約に基づく T R U 契約に基づく T R U 契約に基づく T R U 契約に基づく	「 草 王 査 王 R U 契 約 に 基 づ の 加 入 者 数 に る 。 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 で 3 百 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の 二 の 前 の 加 入 者 数 の 二 の 前 の 加 入 者 数 の 二 の 前 の 加 入 者 数 の 二 、 の か い で 3 百 の の の 加 入 者 数 の 二 、 の 前 の 加 入 者 数 の の の の 加 入 者 数 の の 二 の の の 加 入 者 数 の の の 加 入 者 数 の の の 加 入 者 数 の の の 一 の 加 入 者 数 の の の の 一 の の の の 一 の か の の の の の 一 の か の の の の の 一 、 の の の 一 の の の の の の の の の の の の の	を徴収し、新たな 溝 部 和 に に し て は 、 ま ず 現 す る 徴収し、 新 た な 溝 御 の 加 入 者 数 一 町 税 の 加 入 者 数 一 の 加 入 者 数 一 の 加 入 者 数 一 の 加 入 者 数 一 の 加 入 者 数 一 の 加 入 者 数 一 の 加 入 者 数 一 の 加 入 者 数 一 の 加 入 者 数 の 加 入 者 数 の の 加 入 者 数 の の 加 入 者 数 の の 加 入 者 数 の の 加 入 者 数 の の 加 入 者 数 の の 加 入 者 数 の の の の の 加 入 者 数 の の の の の の の の の の の の の	管理費負担金収入を7百4 「 方	西澤委員 情報通信施設 西澤委員 情報通信施設	を徴収し、新たな 満 の が 来 る の 加 え 年 度 実績 を 基本 に る の 加 入 者 男 見 担 金 収 入 を 子 の 加 入 者 男 し ん だ 理 中 見 し ん だ 理 中 見 見 し ん だ 理 中 見 見 し ん だ 形 可 の 加 入 を ろ 員 町 税 の 加 入 を 万 の 加 入 を 万 の 加 入 を 万 の 加 入 を 万 の 加 入 を 万 の 加 入 を 万 の 加 入 を 万 の 加 入 を 万 の 加 入 を ろ の 加 入 を ろ の 加 入 た で 3 百 の 加 入 た で 3 百 の 加 入 を ろ の の の 加 入 を ろ の の の の 一 の 加 入 を ろ の の の の の 一 の の の の の の の の の の の の の	を徴収し、新たな 溝 委員 町税 の 加 て 有 い て 信 い て 信 い て に し が 主 査 」 の 加 入 春 妻 れ し が 主 査 」 の 加 入 春 妻 れ し が 主 る の い て の 加 入 を 万 に し が 主 る の い て の 加 入 た で 3 百 の 加 入 た 理 費 り 担 金 収 契 約 に こ の 加 入 た だ 理 中 見 う ん だ だ 理 中 見 う む ん だ だ 理 中 見 う む の 加 入 を 7 に の 加 入 を 7 に の 加 入 を 7 正 四 契約 に る の の 加 入 た だ 理 中 見 金 の の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の 加 入 を 7 一 の の か に 、 、 第 一 の の の の 一 た た で ろ の の の の た た で 一 の の の の 一 た た で ろ の の の の の た た で ろ の の の た た で ろ の の の の た た で ろ の の の た た で ろ の の た た で ろ の の し た た で ろ の の た た で ろ の の た た で ろ の の し て う の の の し て う の か た た つ か の し て う の の の た た で ろ の の の た た つ か た た た で ろ の の の た た た た た た 本 一 の の の の の の の か た た 本 た の の の の の の の の の の の の の	を徴収し、新たな 満 の に伴い23 年度実績で3 百 の 加入者 数 に 代 い て 伺 い た い 。 。 。 の 加入者 数 に の 加入者 数 の 加入者 数 の の 加入者 数 の の 加入者 数 の の 加入者 数 の の 加入者 数 の の の 加入者 数 の の 加入者 数 の の 加入者 数 の の 加入者 数 の の 加入者 の 一 の 加入者 の 一 の 加入者 の 一 の 加入者 の 一 の 加入者 の 一 の 加入者 の 一 の 加入者 の 一 の 一 の 加入 を 月 し の が の 加入 を 月 の の の 一 の 加入 を の の 一 の 一 の 加入 を の の 一 の の 一 の 一 の 一 の の の の の の の の の	を徴収し、新たな	を徴収し、新たな滞納対策 いて伺いたい。 学者の したい に伴い24年度より扶養控除などの見 で イバーの加入者数で歳 で る で した に に に に に に に に に に に に に に に に に に	を徴収し、新たな滞納対策 いて伺いたい。 学者員 町税の滞納 が、その根拠を伺いたい に伴い24年度より扶養控除などの見 しが主な原因。 日RU契約に基づく光 厚する徴収率向上対策する徴収率向上対策する徴収率向上対策なの規 しが主な原因。 同日もの加入者数で の税制 の たて伺いたい。 の たい。 に 代 いて伺いたい。 の たい。 の 市税 滞納対策	「 村委員」個人税収入が 「 「 「 大主査」 の 市税 市 報 二 R し が 、 その根拠 を 何 い た 伴 い 2 4 千 円 見 込 ん だ 理 告 自 担 金 収 入 年 度 よ り 持 義 控 除 な 原 因 。 、 そ の 根 拠 を 信 い 2 4 千 円 見 込 ん だ 理 由 は の 祝 し が 主 な 原 因 。 の に 伴 い 2 4 年 度 よ り 技 養 控 除 な 成 の の 加 入 末 で の 祝 い た い 2 4 千 円 見 込 ん だ 理 由 信 施 設 の た だ 理 由 は む の 元 下 下 下 下 下 て 百 の 加 入 を 写 百 約 に 基 づ く の 祝 い た で 百 の 初 に 基 づ く 、 だ 理 由 は 。 の 一 の 前 れ い た で 西 の 初 い た で 西 の の 加 入 た で 西 の の 加 入 を 7 百 約 、 た で 西 の の 加 入 を 7 百 約 、 た で 一 の 加 入 た で 西 の の 加 入 た で 百 の の の 元 の 一 の 加 入 古 の 一 の 一 の 前 の の 一 の 前 の の 一 か 六 で の れ い た い で 一 の の 一 の 一 の か た い た い 一 の 一 の 一 、 本 に い た い 一 の 一 の 一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 炭入の質疑 に伴い24年度予算額より増えていが、その根拠を伺いたい。 「大主査」の加入者数で気に得いたい。 「大主査」の加入者数で気に得いたい。 「国する徴収率向上対策に、 第一次主査」町税の滞納 「大主査」町税の滞納が策 にて行いたい。 「大主査」町税の滞納が策 にて行いたい。 「大主査」の方法 「大主査」の方法 「大主査」の方法 「大主査」の方法 「大主査」」の方法 「大主査」」の方法 「大主査」」の方法 「大主査」」の方法 「大主査」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大主」」の方法 「大言」」の方法 「大言」」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の方法 「大学額」の 「大学額	度と考えられる。 たな 市委員 町税の満 の に に に に に に に に に に に に に





役場庁舎屋上から見た幌延市街

また、防災マップで示され たと思うが、今、 色々な事業に取り組んでき 当初より、 険個所への看板設置は今後、 めていきたい。 主的に話合ってほしい。 高揚と地域の防災対策を自 ており、個人の防災意識の 立されている。今後も町内 は、現在、町内8箇所で設 避難訓練等を行わないのか。 主防災組織などと連携し、 度は成果を出していきたい 色々と研究をしながら24年 ラス捕獲用ネットを購入し、 のように進めていくのか。 除でのカラス駆除対策はど 現地を確認して検討する。 防災組織と相談しながら進 各地区での設立をお願いし 設置は考えられないのか。 た町内危険箇所に看板等の 谷口課長 無量谷委員 西澤委員 宮古主幹 高橋委員 今後、避難訓練等は自主 防災マップで示された危 総 括 消防庁舎を始め 24年度中に自 自主防災組織 23年度よりカ の質 宮本町長就任 有害鳥獣駆 町長とし 疑

ほろのべ議会だより 第67号 ⑦

			, 1
えるのか。	特別会計	常任委員会	①本町は地方交付税に大き ○ 我が町の方針
宮本町長 幌延町は、職員	幌延町立診療所特別会計		く依存する状況にあること
が知恵を絞り、少しでも有	西澤委員町立病院から		から財政の健全化に向けた
利な補助制度や事業を進め	診療所に替わって国からの	■総務文教常任委員会	取組みを着実に進める。
てきた。お陰で事業量の割	交付金はどの様になるのか。	平成24年2月24日	②行政改革の理念に則り、
には財政上問題なく運営さ	瀬戸課長 経過措置とい	◎調査事項	歳出全般を見直す。
れていると思う。	うことで、25年度まで今ま	(1)町立病院エレベーター設	③消費的経費の徹底した見
今後は、ソフト面での町	での金額が継続される。そ	置事業に係る電源立地地	直し
民の要請にも対応したい。	の後は3診療所合わせて1	域対策交付金の国庫返還	④投資的経費は酪農業の振
佐々木委員現在、町内の	億円程度の交付税を見込ん	①23年10月の診療所開設に	興や、まちづくり基本方針
集会施設では、百名規模の	でいる。	伴い不要となったエレベー	に沿って選択と集中を実行。
集会が可能な施設は2箇所	無量谷委員出張医の派	ターについて、補助金等に	(町政執行方針より)
で、その内、国際交流施設	遣はどの様な形なのか。	係る予算の施行の適正化に	③問寒別生涯学習センター
に関しては、宗教、政治活	岩川事務長」木曜日から	関する法律により、国庫返	耐震診断業務
動が制限されている。	日曜日にかけて旭川医大か	還とする。	①耐震診断業務委託業者
他の施設も土・日曜日の	ら4名程度の医師が輪番制	残存期間の10年6ヶ月分	・北電総合設計株式会社
使用ができない状況だが、	の様な形で1名ずつ派遣さ	2千7百22万8千円を返還。	・23年7月26日~24年1
使用緩和が可能なのか伺い	れている。	(2)4年度一般会計ほか6会	月20日
たい。	幌延町下水道事業特別会計	計の概要	 ・委託金額 3百67万5
飯田主幹。原子力機構が	予算	○国及び地方財政の概要	千円
所有する施設は、幌延国際	佐々木委員。個別排水槽	・日本再生の5つの分野	②耐震補強(案)
交流施設に限らず、政治活	の整備事業の負担金はどの	①東日本大震災からの復興	・方杖・ブレースによる
動や宗教活動に利用できな	様になっているのか。今後	②経済分野のフロンティア	補強概算工事費9千8
° V)	も継続して行くのか。	の開拓	百4万円
鈴木課長 農村環境改善	渡部主幹国からの補助	③分厚い中間層の復活	③今後の方針
センターについては、以前	金は入っていない。町単独	④農林漁業の再生	 ・耐用年数38年に対し36
の条例改正の際に、土・日曜	で起債を借りて実施をして	⑤エネルギー・環境政策の	年経過しているが、耐
日の利用はできないことに	いる。今後も希望が有れば	再設計	震改修を行っても耐用
なっている。また、集会施	継続して実施をする形は	これらを中心に地域主権	年数は延びない。よっ
設機能を果たせるような施	執っている。	改革を推進し、既存予算の	て、生涯学習センター
設ではないと認識している。		見直しを行う。	を新築する決断をした。



供用年数に応じ劣化予測しに応じ優先的に行う。更に、長1百m以上など劣化状況

②計画の実施

重要度の高い路線で、橋

総合的に判断し計画した。	きな要因となっている。町	督 遊
予算は10年間で2億9百	も、施設から在宅介護への	ラウン
万円を計画している。	移行を図り、真に利用者の	リアを
③事業の財源	自立を支援するための、効	としては
社会資本整備総合交付金	率化・重点化する方向で見	(4) 乳幼
の橋梁補修事業に実施する。	直しを行うとしている。一	の拡充
₿ 社会資本整備総合交金	方、施設サービスの拡充を	改正(案
は、事業費の何%出るのか。	求める意見もあった。	名称
審 書業費の65%。	③認定こども園 (仮称)基本	対象者
■ 計画的修繕で耐用年数	構想の策定について	生まで)
(55年)以上使用できるとい	①建設予定地について	助成の知
う考え方か。	病院跡地を建設予定地と	入院、
◎ 大規模修繕や架け替え	する。	重度心望
をすると、60年間の投資総	現保育所の場所について	親等家庭
額は1百20億円必要になる	は、代替施設が必要となる	者は、ア
のに対し、予防保全的な修	ので、その確保は困難と判	た 額 。
繕の場合は60億円に抑えら	断した。	所得制
れると考えている。	②作業スケジュール	自己負担
② 第 5 期 介護保険事業計画	24年度に基本設計、25年	種や、
について	度に実施設計、26年度に建	準負担に
前回の常任委員会後、介	設工事等となり、供用開始	の、保険
護報酬改定内容が決定し、	は27年4月とする。	は対象は
第1号被保険者保険料の基	◎ 建設予定地周辺の住民	町の時
準額が年額7万3百円から	にも意見も聴いて決定する	千円と
7万8百円に変更された。	のが望ましいと思うが。	百5万
これまでも、委員会や本	● 地域懇談会をどうする	間町
議会において、保険料の高	か相談して進めていきたい。	けた場へ
さや低所得者層への配慮に	いずれにしても、スムーズ	會領
ついては指摘してきた。た	な形で建設していきたいと	して頂き
だ、本町の利用者の状況を	思っている。	きを取る
見ると施設サービスの利用	◎ 建物以外の土地利用を	
が多く、保険料を上げる大	どう考えているのか。	

編集にあたって 今年は残雪が多く、遅い 春となりました。待った分、 山菜がよりおいしくなって いればと願ったりしていま す。 さて、3月の定例会も終 さて、3月の定例会も終 さて、3月の定例会も終 しい思い していま した。幌延町で新しいスター トを迎えられる方に「よう こそ幌延町へ」色々なとこ ろに出掛けて、楽しい思い していまい	議会の動き 1月6日・第18回議会報発行特別委員会 1月1日・第19回議会報発行特別委員会 1月19日・第20回議会報発行特別委員会 1月19日・第20回議会報発行特別委員会 1月20日・第1回議会定営委員会 第1回総務文教常任委員会 第1回議員協議会 2月3日・第22回議会報発行特別委員会 第1回議員協議会 2月3日・第22回議会報発行特別委員会 第1回議員協議会 2月3日・第22回議会報発行特別委員会 第10目 第2回議会報発行特別委員会 2月16日・第23回議会報発行特別委員会 第2回議会報発行特別委員会 第2回職会報発行特別委員会 第2回職会報発行特別委員会 第2回職会報発行特別委員会 第2回職会報発行特別委員会 第2回職会報発行特別委員会 第2回職会報発行特別委員会 第2回職会報発行特別委員会 第2回職会報登行特別委員会 第2回職会報登行特別委員会 第2回職会報登行特別委員会 第2回職会報登行特別委員会
それもなかなか難しいでしょうか。町内に名林公園 やふるさとの森があります。 しょうか。町内に名林公園 やふるさとの森があります。 し、夜には満天の星空が広 ら月の定例会で皆様をお 6月の定例会で皆様をお になればと思います。 議会の た々木忠光 編集委員長 佐々木忠光 編集委員長 佐々木忠光 編集委員長 佐々木忠光	第2回産業厚生常任委員会 第2回議員協議会 3月5日 - 第3回議会運営委員会 3月8日 ~ 14日 > 第1回定例会 3月14日 - 第5回議会運営委員会 3月27日 - 第5回議会運営委員会 3月31日 本部代議士・吉田道議・三好道議を囲む新春の集い (稚内市) 4月2日 - 第24回議会報発行特別委員会 4月9日 - 第25回議会報発行特別委員会 4月12日 - 道北地域TPP問題を考える講演会(旭川市) 4月16日 - 第26回議会報発行特別委員会 4月12日 - 道北地域TPP問題を考える講演会(旭川市) 4月16日 - 第26回議会報発行特別委員会 4月18日 ~ 19日 > 宗谷町村議会議長会総会(稚内市) 4月20日 - 第2回臨時会 第3回総務文教常任委員会 第3回産業厚生常任委員会